

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 第3期埼玉県教育振興基本計画「豊かな学びで未来を拓く埼玉教育」
- 埼玉県教育行政重点施策
- 指導の重点・努力点
- 教育課程編成要領等



# 平成31年度 北谷小学校教育プラン

## 学校教育目標

よく考える子(知) 仲良く助け合う子(徳) 元気で明るい子(体)

## 目指す児童像

「自ら学び、人間性豊かで、心身ともにたくましい北谷っ子」

「吉川市教育大綱」家族を郷土を愛し志を立て 凜として生きてゆく」



- 吉川市教育行政重点施策「生きがい・学び・伸びゆくまちづくり」
- 豊かな人間性を培う学校教育の充実～
- 確かな学力の向上・教員の指導力の充実
- 健やかな心と身体の成長・教育環境の整備
- 児童の実態
- 児童の思い
- 教職員の願い
- 保護者の願い
- 地域の願い



## 目指す学校像

「感動いっぱい、夢いっぱい、強い心の北谷小」

- 子供一人一人を認め、生かし、伸ばす学校
- 確かな学力、豊かな人間性、健やかな体をはぐくむ学校
- 児童・保護者・地域から信頼される学校

## 目指す教師像

「情熱を持って教え、児童を健やかに成長させることに使命感をもち、児童・保護者・地域・他の教職員から信頼される教師」

- 子供への教育的愛情と使命感をもち、確かな人間力を身につけた教師
- 子供の可能性を信じ、鍛え伸ばすことのできる教師
- 研究と修養に励み、わかる授業を展開し、資質向上を図る教師
- 高い倫理観と心豊かな人間性をもち、生徒の模範となる教師
- 教職員と連携、協働し組織的に職務を遂行できる教師



## 本年度の重点

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善と様々な道徳的課題に児童が向き合う「考え、議論する道徳」の実践

研究主題:「自己の生き方を考え、主体的に実践しようとする児童の育成」  
～「考え、議論する」道徳授業づくり～

- 確かな学力、豊かな人間性、健やかな体を、全教育活動を通してはぐくんでいく。
- 児童一人ひとりの健全育成を図るため、家庭、地域との連携、協力を推進する。
- 3つのキーワード「本大好き・元気なあいさつ・外遊び」を全校で推進する。



## 学校経営の基本方針

- 「学校は組織体で活動する」…… ○学校教育目標の実現に向け、教職員が互いに理解し合い、磨き合い、組織的・機能的に教育活動を推進する。  
○「全校児童を全教職員で育てる」という理念のもとに、常に危機管理意識をもって、問題行動の早期発見・早期解決に努める。
- 「授業を最も大切に、児童に3つの力を育む」…… ○教材研究や準備を十分に行い、「わかる・できる・楽しい」授業を展開することを通して、基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるとともに、よさや可能性を伸ばす教育を推進する。  
3つの力(学力・心力・体力) ○思いや考えを生き生きと表現し、仲間とともに考え、協力して課題を解決する授業を通して自己有用感の育成や互いに認め助け合う人間関係づくりを進める。
- 「教職員一人一人の人間力向上を図る」…… ○教職員自己評価シートで自己の目標を明確にし、その達成のために自己研鑽や研修を通して、人間力の向上を図る。  
○ベテラン教職員の若手教職員への専門的知識・指導技術の継承と、ベテランと若手の教育技術を融合することにより、教職員として必要な専門性の向上を図る。
- 「日々の実践の中で、常に考え、創意工夫する」…… ○教育公務員としてサービスの厳正を期すとともに、業務と職責を明確にし、日々実践する中で、常に考え、創意工夫に努める。  
○教育をめぐる状況の変化を捉え、最新の専門的知識や指導技術に関する情報を収集し、日々その活用に努める。
- 「家庭・地域との連携・協力関係を推進する」…… ○学校公開、授業参観懇談会、個人面談、花の子相談、地域の人材活用、各種行事等への積極的な対応、学校だよりやホームページでの教育活動の発信等を通して、家庭や地域社会との連携を深め、開かれた学校づくりに努める。  
○近隣の幼稚園・保育園・中学校・高等学校と園児・児童・生徒の交流や教職員の連携、吉川市少年センター等との情報交換を深めることで、児童の健全育成を図る。

指導の重点													外国語活動・国際理解	食育・学校給食教育	保健・健康教育
学校経営	学級経営	学習指導	生徒指導	道徳教育	体力・健康	特別活動	総合的な学習	学校教育相談	人権教育	環境教育	特別支援教育	安全教育	外国語での積極的コミュニケーションの態度・自国の文化、伝統の重要性の理解や尊重する態度の育成を目指す。(5～6年外国語・3～4年外国語話)	食事のマナー等、望ましい食習慣や食事環境を通し、児童の豊かな心や健康体力の育成を目指す。	健康に生きていくための基礎的な知識の習得と児童が健康で安全に生活しようとする態度の育成を目指す。(心と体・命の授業の全学年実施)(「勇者の旅」プログラム)
熱意・誠意・創意を生かし、特色ある教育活動の充実を目指す。	多面的、共感的児童理解に努め、思いやりある学級経営を目指す。(強い心＝がまんする心)	個に応じた指導の充実と表現力の育成に努め、学力向上を目指す。(目を見て聞く)	積極的な生徒指導を推進し、心豊かな児童の育成を目指す。(北谷小子どもの生活の徹底)	人間としての生き方を身に付け、実践する児童の育成を目指す。(特別の教科「道徳」の研修の推進)	たくましい体と豊かな心を持った心身ともに健康な児童の育成を目指す。	個性の伸長を図り、自主的・実践的な態度の育成を目指す。	自ら学び、考え、解決する学習を身に付けるとともに、生き方を考えることができる児童の育成を目指す。	悩みや不安を解消するための支援を通じて、よりよい人格の完成を目指す。	人権に対する理解を深め、様々な問題を解決しようとする児童の育成を目指す。	環境問題に関心を持ち、理解を深め、自ら実践する態度の育成を目指す。	一人ひとりの児童の教育的ニーズに応じた適切な教育支援を目指す。	安全に生活できる環境の整備と、安全に行動しようとする実践力の育成を目指す。			

家庭・地域との連携				家庭との連携	学校応援団による支援
<b>保・幼・小・中・高との連携</b> ・幼児小連絡会議 ・小中連絡会議 ・南中学生社会体験チャレンジ ・吉川美南高校との交流事業 ・保幼小高との異校種交流	<b>自治会長・民生委員との連携</b> ・自治会長学校連絡会の開催(6月、2月) ・民生委員学校連絡会の開催(7月)	<b>学校評議員との連携</b> ・学校評議員会の開催(6月、11月、2月)	<b>JAとの連携</b> ・食農体験事業(稲作体験活動)	<b>家庭との連携</b> ・家庭読書の日(毎月23日) ・家庭学習の習慣化(見届け週間) ・生活習慣の定着等 ・「元気カード」の取組	<b>学校応援団による支援</b> ・保護者による授業支援、長寿会による伝承遊び指導 ・スクールガードによる安全指導 ・環境美化支援活動 ・「よみかきせ日和」による読み聞かせ ・おやじ会「ババズ」による体験活動(火起こし・飯ごう炊爨・流しそうめん・手芸工作 等)